



2023 年度
第 7 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
学生目で見た
「学」生選手 -
「学」を外して
眺める視線



2
尹長官
エリートスポーツ
全面支援
体育も文政権を消す？



3
KBO と各球団が選ぶ
「大学生マーケター」
労働搾取では
ないですよ？



4
監督・選手が悪口、
殴打、殺害の脅威まで
英国審判 900 人が
集団訴え



5
チュ・シンスの
決心発言
なぜファンは
そっぽを向いたのか

6
野球界の悪循環
解決の糸口は
ここから



大韓民国スポーツの
根本的変化を
皆さんと共に
作って行きたいです
体育市民連帯と共に
していただけますか？



01 体育市民連帶コラム 李ファン/忠北大学校体育教育科 学生の中で見た「学」生選手 - 「学」を外して眺める視線

体育教育科に入学した私は最初の授業を受けるために体育館に入った。私より先に来た人がかなりいた。みんな初対面だったからかな？沈黙が続いた。一群が入ってきて体育館の静寂を破った。彼らはすでに親しいように見えた。授業は始まったが、ますます大きくなる彼らの声。気にしないように努力した。教授の言葉に関心がないように授業準備をせずに彼らだけの話を続けた。彼らは学生選手だったことが分かった。学生選手だと思えば、彼らの行動も納得できた。私は一般学生なので、これから彼らと親しくなることはないと思った。学生選手たちは授業に関心がないと思ったからだ。

「偏見」とは、特定集団に対して一方に偏った意見や見解を持つ態度をいう。実際、多くの人々が偏見を持っている。私も学生選手に対する偏見がある。彼らは「勉強とは別」の人生を送るという。ほとんどの人は学生選手と学業を関連付けていない。固定観念のためだ。

実際、すべての学生選手が学業に関心がないだろうか。少なくとも私が会った同期の学生選手たちはそうではない。彼らも学業の必要性を切実に知っている。学業並行を通じて運動をやめても運動以外の進路選択が可能だからだ。

私の同期の中で走り幅跳びの学生選手は任用試験合格のために一般学生の私より学業に投じる時間がもっと多かった。運動と勉強を並行しながら学校生活をする彼女を見れば「勉強とは別」という学生選手に対する考えが自然に変わる。彼女は一般学生との競争で多くの困難があったが、挫折しなかった。卓球選手出身のアン・グクヒは、3度の挑戦の末、体育教師の人生を送っている。亜洲大学心理学科の金ギョンイル教授は、高校2年生の時までテニス選手だった。勉強とは塀を築いていた彼は、一步遅れて勉強を始めた。さまざまな試練を乗り越えて心理学を専攻した彼は、大学で後輩の養成に力を入れている。私はどんな基準で私の大学同期の学生選手を判断したのだろうか。学生選手を眺める社会的偏見は多様だ。その流れに私も賛同した。いくら考えても適当な基準が思いつかなかった。私は彼らの人生、考え、意志とは別に、彼らを判断し、裁断し、規定した。

「群盲撫象」

盲人が象を評すという意味の四字熟語。物事を総体的に把握できず、自分の主観と狭い所見で誤った判断をするという意味だ。多くの人々が自分の主観で周りを判断する。自分の考え、あるいは社会的基準の是非に対する判断は留保したまま。偏見はこのような脈絡で私たちに迫ってくる。無色、無臭、無香で…。認知できない誤った観念と判断 誰かにとっては大きな傷になりかねない。学生選手たちに対しても否定的な視線が多い。大半が偏見のためだ。誤った偏見によって自分たちの努力が正しく評価されないというのが残念だ。学生選手たちを偏見なく眺める視線が多くなることを願う。私が経験した私の同期。学生選手たちは学業と運動の二兎をつかむために人より努力している。学生選手も学生だ。二つの業を並行する私の同期。彼らの夢と情熱を応援する。

2023.02.21

02 YTN 2023.02.14

尹長官「エリートスポーツ全面支援」…体育も文政権を消す？



[アンカー]

尹ソンヨル大統領が国家代表選手たちと会い、スポーツ産業を未来の成長動力として集中育成すると宣言しました。

エリートスポーツを強化する考えも示しましたが、「メダルより人権」を叫んだ文在寅政府とは明確に違う体育政策です。

チョ・ウンジ記者です。

[記者]

9月の杭州アジア大会を前に練習で熱い鎮川選手村に、尹大統領が「サプライズ訪問」しました。

上着まで脱いでアーチェリーの金メダリストにワンポイントレッスンを受け、直接弓弦を引きます。

[キム・ウジン/アーチェリー国家代表・オリンピック金メダリスト:右目で黄色を照準してください！そして指は3本… いち、に、さん！(わ!!!!!!!)]

1200坪、フットサル場6つの大きさの体力鍛錬施設の隅々を歩き回り、選手たちと近く呼吸しました。

「尹錫悦大統領、頑張ってください！愛しています！」

運動データをリアルタイムで分析するAIベースのトレーニングシステムを見て回り、リハビリセンターも見て回りました。

[尹錫悦 / 大統領:計画している良い成果を出すことを私も願っています。皆さんファイト！]

国家代表選手と指導者、民選2期で選出された市・道体育会長など体育人1600人余りの前で尹大統領は「エリートスポーツ」復活を宣言しました。

何より訓練手当の引き上げなど処遇改善を約束しました。

[尹錫悦 / 大統領:世界一流選手になれるよう、国は全面的に支援します。引退後も指導者と専門家の暮らしが続けられるよう、政府の財政基盤と市場基盤を整えていきます。]

スポーツを政治に活用して「公正論難」を触発した平昌アイスホッケー単一チーム事態を皮切りに過度に人権を強調し、体育人たちの激しい反発を買った文在寅政府スポーツ政策と別れを宣言したのです。

尹大統領はスポーツ産業を国家成長動力として集中育成すると明らかにしました。

G20首脳会議の際、FIFA会長がサッカー市場の公式統計が100兆ウォン程度だが、実際は数倍になると言及したとし、スポーツ産業をよく育て、膨大な良質の雇用も創出すると述べました。

スポーツ産業の育成やエリート選手の養成、国民の健康のためのスポーツ福祉、この「三位一体」が尹錫悦政府のスポーツビジョンだと大統領室は紹介しました。

出典：https://www.ytn.co.kr/_ln/0101_202302142058401620

03 スポーツソウル 2023.02.19

KBOと各球団が選ぶ「大学生マーケット」労働搾取ではないですね？



ジレンマだ。「機会提供」側面と「労働力搾取」の間でだ。

プロ野球開幕を控えた各球団が新シーズンの準備に取り組んでいる。プロ野球を管掌する韓国野球委員会（KBO）も新入社員採用のために採用連携型インターンを選ぶなど忙しい。毎年この時期にKBOが選抜する「大学生マーケット」も間違いなく公告が出た。人気も高い。20:1程度の競争率を勝ち抜いて選抜される。ところでこの「大学生マーケット」、問題はないだろうか。

就活生のA氏はKBO大学生マーケットに選ばれ、1年間働いた。A氏は「月5万ウォンを支給されて働いた。KBO大学生マーケットは主にソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)に掲示文を載せる活動をしている」として「制作するコンテンツごとに投与される時間が違った。特に、映像編集および製作とフォトショップ業務を担当したマーケットは業務量が相当だったはずだ。彼らが投資した時間に比べて5万ウォンは少ないと思う」と話した。

プロ野球10球団も一時、毎年この時期になると「大学生マーケット」を選抜した。匿名を希望したB氏は、新型コロナウイルス感染症のパンデミック(全世界大流行)以前、あるプロ野球団で大学生マーケットとして働いた。B氏は「交通費程度だけを受け取った」として「時間とエネルギーをかけて進行した業務に比べて少ない日当を受け取ったのは事実だ。労働搾取だと思った」と振り返った。

2019年、某プロ野球団で働いた大学生マーケットが雇用労働部に該当球団を労働搾取として申告した後、大部分の球団が大学生マーケット選抜を中断した。B氏が働いた某球団も現在、大学生マーケットの選抜を中断した。

匿名を要求した某球団関係者は「受け取るお金に比べて過度な業務指示を受けたと思った学生側から球団を告発することがあり負担になる」と話した。社会的に台頭した人権問題に敏感に反応する雰囲気だ。ハンファ、キウム、ロッテ、NC球団などは2018~2021年を最後に大学生マーケット選抜を中断したが、その理由について「今後大学生マーケット選抜計画は別がない。特別な理由はない」と述べた。KIA関係者は「運営当時、マーケットが学校授業などの理由で出席できないなど連続性の側面で効率性が劣ると判断し廃止することになった」と説明した。

プロ野球斗山ベアーズが掲載した2023年球団大学生マーケットの公告文。

現在まで大学生マーケットを選抜している球団もある。斗山ベアーズだ。球団側は「最低時給を遵守して活動費を支給している。大学生マーケットたちは球団行事参加からコンテンツ製作まで本人たちが望む活動を経験する。該当分野の関心および満足度充足はもちろん就職のための経歴にも役立つというフィードバックを着実に受けている」として大学生マーケット制度を維持している理由を明らかにした。

KBOも「会議頻度は平均月1~2回行われる。活動費5万ウォンを支給するのは事実だが、5万ウォンの他に食事・交通費などその他の諸般費用を追加で支援している。今年は活動費が例年より上昇した。試験期間など個人的な事情により会議を抜けても活動費を支給する。創作物と成果物に対する代価の意味よりは個人活動をするのに役立てようとする概念で支給してきた」と話した。業務負担に比べて活動費が少なくないという積明だ。

客員マーケットの志願資格を「大学生」に限定したのもアイロニーだ。KBO関係者は「若者の見解を受け入れるため」と説明したが、20歳で2年制専門大学に進学して卒業した22歳の青年は資格が剥奪さ

れ、浪人・三浪をして4年制大学に進学し軍除隊まで終えて休学中の27歳の青年は資格要件を満たすことになる。

これはKBOとプロ野球球団だけの問題ではない。サッカー・バスケットボール・バレーボールなどプロスポーツ球団と、大企業、そしてマスコミまでサポーターズ、客員記者、客員マーケッターなどの肩書きを作って大学生を選抜する。そして最低時給も支給しない。厳密に彼らは雇用契約書を作成して働く労働者ではないためだ。毎回出てくる指摘だが、それでも徹底した「乙」である予備就職準備生の大学生は志願せざるを得ない。

就職トレンドが職務関連経験者優待に変わり、関連業務活動経験一つが大切な今日、機関と企業が青年たちの切実さを利用して利益を得ているのではないか。業務経験機会提供を盾にはしていないか「甲」の悩みと自省も必要だ。

出典：<http://www.sportsseoul.com/news/read/1200275?ref=naver>

04 マイデイリー 2023.02.14

「監督・選手が悪口、殴打、殺害の脅威まで」英国審判 900人が集団訴え



英国のサッカー審判たちが精神的な苦痛を受けている」と打ち明けた。英国公共放送「BBC」は14日（韓国時間）、「英国下部リーグでサッカー審判として活動する927人を対象にアンケート調査を行った。大多数が言語的な暴力を受けた経験があり、293人は監督、コーチ、選手、観衆から身体的な脅威を受けたと答えた。彼らの一部は拳で殴られたり、頭突き攻撃されたりした」と報道した。

甚だしくは殺害の脅威を受けた審判も多い。57人は、自分または自分の配偶者や家族を殺すという脅迫に苦しんだ。回答者の半分以上の506人はFAの審判処遇がひどいと答えた。

イングランドサッカー協会（FA）は「下部リーグ審判に向けた言語的・身体的攻撃は非常に不当だ。年内に審判の胸にボディカメラを取り付ける」と対応した。このカメラを通じて選手や監督の不適切な言動を録音し、録画する計画だ。

またFAは「このような問題でユースリーグで懲戒を受けた選手や監督はどんな試合にも出場できず、上位リーグに進学できないよう措置する。競技場のチケットを購入することも阻止する」と予告した。

「BBC」は17歳以下の審判122人を対象に別途のアンケート調査（複数回答可）を行った。このうち監督・コーチから悪口を言われた審判は105人、観衆から悪口を言われた審判は109人、選手から悪口を言われた審判は102人だった。

何人かの審判は自分の事例を聞かせてくれた。30歳の男性審判ライアンは「週末ごとに審判をしに行く。試合時間90分ずっと悪口を言われ、1日30ポンド（約4万6000ウォン）をもらおう」と訴えた。ライアンは試合が終わった後、選手たちが追いかけてくると、裏通りで1時間以上隠れていた経験も告白した。

18歳の女性審判、メーガンはユースリーグで一人の学生の退場措置を取ったが、この選手の両親から殴られた。メーガンは「保護者の悪口を聞いてみれば、なぜサッカー場に女性がいないのか理解できるだろう」と主張した。メーガンは「その保護者はわずか6試合出入り禁止懲戒を受けた」と付け加えた。

かつてイングランド・プレミアリーグ（EPL）代表FWとして活動したクリス・サットンは、「審判に向けたいかなる攻撃も正当化できない。プレミアリーグのように上位リーグでプレーする選手も自分の行動に責任を負わなければならない」と強調した。サットンはサッカー審判の父親と一緒にサッカーを見て成長したサッカー人だ。

出典：

http://www.mydaily.co.kr/new_yk/html/read.php?newsid=202302141529383136&ext=na&utm_campaign=naver_news&utm_source=naver&utm_medium=related_news

05 時事 IN 2023.02.18

チュ・シンスの「決心発言」、なぜファンはそっぽを向いたのか



SSG ランダースの大リーグ出身外野手、チュ・シンス（40）が舌禍を巻き起こした。プロ野球オフシーズンに米国に滞在しているチュ・シンスは今年1月21日、ダラスの韓国人放送に出演し、ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）国家代表選抜について言及した。彼は「代表チームが直ちに成績を優先するよりは若い有望株をもっと選ぶべきだった」とし「(国際大会に) 顔を出して外国に出る機会を作ってあげるのが韓国野球の仕事」と主張した。

WBCはサッカーで言えばFIFAワールドカップに匹敵する舞台だ。そのため、最高のチームを構成しなければならない。自国リーグより年俵を多く支払う外国プロ野球団に選手がスカウトされる機会を与えなければならないというのが代表チーム選抜基準になってはならない。

高校時代、校内暴力問題で選ばれなかった剛速球投手のアン・ウジン（キウム）に対する言及は深刻だった。チュ・シンスは「韓国が許すのは容易ではないようだ」と話した。アン・ウジンの脱落は「不合理」とし「野球先輩たちが積極的に乗り出さなければならない」とも話した。被害者ではない誰がアン・ウジンを「許す」ことができるというのか。

チュ・シンスはアン・ウジンを代表チームに選ばなければならない理由として「外国に出て韓国野球を…。ある意味、朴賛浩先輩の次に良い選手になれる才能」を挙げた。結局、アン・ウジンが野球が上手だからだということだ。そのためチュ・シンスの発言は「野球さえうまくやれば」、今完成した投手でなくても代表チームに選ばれて海外進出の機会を享受しなければならず、校内暴力の加害者でも先輩たちが乗り出して代表チームの脱落を防ぐべきだったという意味につながってしまう。

チュ・シンスだけを責めるのも難しい。そのように考える前現職選手は珍しくない。多くの選手が学生時代から「野球さえうまくやれば」成功する環境で成長した。暴力を含めて学校運動部で起きる様々な不条理はこのように正当化される。2020年、国家人権委が大学運動部選手を対象に行ったアンケート調査で、「運動能力向上と勝利のためにスポーツ暴力が避けられない」という回答が20%を超えた。

しかし、「野球さえうまくやればいい」という答えは、野球を愛するファンを説得することができない。記者時代、野球を主に取材したが、他の種目の選手や関係者に会ったことも少なくなかった。概して野球に対しては感情が良くなかった。「野球はですね、スポーツではなくゲームです」という言葉をいろんな人から言われたりもした。卑下の下には野球に対する羨望が敷かれていた。

野球は長い間、韓国で最も人気のあるスポーツとして位置づけられてきた。韓国人に「野球 DNA」が刻まれているはずがない。韓国野球の地位には偶然あるいはスポーツ外の理由が大きく作用した。

韓国野球は公式的に大韓帝国時代の 1904 年、米国人宣教師フィリップ・ジレットが皇城 YMCA 野球団を創設したことから始まる。本格的な発展は、日本の植民地時代の教育課程に野球が含まれてから行われた。当時、日本で最も人気のあるスポーツが野球であり、植民地朝鮮にも影響を及ぼした。1920 年 11 月に発刊された雑誌『開闢』には当時最も人気のある団体球技種目が野球だと紹介されている。朝鮮野球は当初、在朝鮮日本人野球とは別に運営されていた。しかし、1930 年代以降は事実上、日本野球の一部門に編入される。

野球は時代と共鳴してきた

この時代、日本人チームを圧倒したサッカーとは違って、野球は劣勢を免れなかった。欠乏は熱望につながった。日本人学生が通っていた中等学校は、ほとんど野球部を運営していた。解放後、これらの学校は新生大韓民国の名門高校に再編された。国を取り戻した韓国の学生たちが野球部の選手になった。新しい名門高校が最も重要視した種目が野球だった。

韓国野球は 1970 年代、高校野球の人気が急上昇して跳躍する。1970 年代には急激な農民離村が起きた。1960 年のソウルの人口は 245 万人だったが、1976 年には 725 万人に増える。疲れたソウル暮らしをしていた移住民にとって、当時ソウル運動場野球場で開かれる出身地域の高校チームの試合は人生の重要な一部になった。

1982 年に発足したプロ野球は 1970 年代の高校野球人気を継承する。プロ野球の発足は、第 5 共和国の愚民化政策と切り離すことはできない。しかし抑圧的な維新時代と区別される「自由化政策」の結果でもあった。一方、経済成長と教育水準の向上を享受し始めた国民にとって、米国と日本で盛んなプロ野球は「先進国」の象徴だった。朴賛浩が大リーグデビューした 1994 年が、韓国が「先進国クラブ」である OECD に加盟する 2 年前という点は象徴的だ。韓国式経済成長モデルは 1997 年の IMF 通貨危機で破綻を迎える。苦難に見舞われた国民に本格的に大リーグデビューを果たした朴賛浩の投球は大きな力になった。このように野球は時代と共鳴してきた。だから韓国で一番人気のあるスポーツになったのだろう。校内暴力は今、韓国社会と体育界で非常に重要な問題の一つだ。WBC 技術委員会に参加したチュ・シンスの先輩たちが結局、アン・ウジンを選ばないことに決めたのも同じ脈絡だ。これを「不合理」と一蹴したのはチュ・シンスの短見だ。

チュ・シンスは「韓国で野球をしているが、理解できない部分が多すぎる」と話した。しかし、彼が 16 シーズンプレーした大リーグも、社会変化と変わった価値観を選手懲戒に反映するという点では変わらない。

1987 年 LA ドジャースの有能な団長だったアル・カンパニスは ABC 放送ニュース番組〈ナイトライン〉に出演し「なぜ大リーグには黒人監督や団長、社長が少ないのか」という質問を受けた。彼は「黒人は意思決定能力が劣る」という返事をして論難を起し、2 日後に解雇された。大リーグが 2015 年から家庭内暴力と性暴力、児童虐待に対する懲戒を強化したのも同じ脈絡だ。

出典：<https://www.sisain.co.kr/news/articleView.html?idxno=49574>

06 スポーツソウル 2023.02.15

野球界の悪循環、解決の糸口はここから



昨年から全国を回りながら学生野球選手たちを対象に講演している。そして、現場の指導者たちとも多くの話を交わすことになった。彼らの不満は一律に雇用安定だ。90%以上が非正規職なので困難が多い」ともどかしがあった。もう少し体系化された保護装置が必要だという声も高かった。

A 高校監督は「学校で調理師の方々も正規職に切り替える雰囲気だ。 私たちも以前は特別技術教師として学校で採用されたが、今はなくなった。 転換ムードから韓国の立場も変わってほしい」と訴えた。

事実、韓国の各分野に非正規職は多い。 おそらく野球界だけの問題ではない。 それでも野球のルーツであるアマチュア野球が発展するために指導者に対する処遇改善は確実に必要に見える。

現実の難しさは分かるが、皮肉で不調和なことがある。 雇用不安で苦しいと訴える非正規職指導者でさえ、学校で簡単につかんだ機会（職業）ではない。

韓国で野球だけを限定して見れば、職業群としてプロ野球選手以外はほとんどいないと見なければならない。 米国や日本に比べてアマチュア選手がプロ選手になる確率は相対的に高い。 日米が4%水準なら、韓国は10%程度になる。 10球団が毎年1000人余りの学生の中から約100人余りの選手を選ぶからだ。

それで一部では「プロに簡単になれるので満腹だと思え」とも言う。 その指摘に文句をつけたくない。

ところが先に言及したように、いざ解決しなければならない問題は日米のようにプロ野球の他に野球職群が多く発生しなければならないということだ。 誰もがプロ選手になることはできないからだ。 幼い選手たちが日米のように実業、独立リーグなど多段階で選手生活を続けることができ、ひいては指導者への道も多様にならなければならない。

しかも、韓国野球界は苦勞して職業野球人になっても命が短い。 おそらく指導者も、多くの場合1年点数制で契約する。 10年以上のベテラン監督もいつクビになるか分からない。 席が少ないため、裏で誹謗と暗闘も多く起きている。 同窓会など周辺の影響力も強い。 野球人として恥ずかしいが、おそらく野球の現実は浅はかだ。

そのため、指導者たちは成績にこだわるしかない。 周りの顔色も伺わなければならない。 構造的に監督も大変で、学生も大変な環境だ。

結局、野球指導者が専門性を認められ、雇用が安定してこそ、生徒たちを所信を持って指導することができる。 当然のことだ。 そのため、深夜12時の動きも見られる。 金品授受、接待、暴行など不正指導者は直ちに服を脱ぐ文化が定着した。 また、正規職ではなくても無期契約職など他の形態の雇用もなされている。

誰もが認知するだろうが、結果的に野球指導者が安定的に定着すれば選手たちにも大いに役立つ。 単に教育の問題ではない。 なぜなら、最近の学生選手たちはプロに行けなければ終わりだと思う。 大学に行っても野球で成功するのは難しいと思う。 そのように道に迷って彷徨う。

ところが、野球界に安定した職業群が増えれば、学生たちもプロ選手以外に他の道を探ることができる。 最近プロ野球が痩せていくというが、野球の頂点がプロ野球なら、一番基盤となるのは多分野球だ。 プロ野球を生かすためには、さらに進んで韓国野球を成長させるためには、答えはおそらく野球にある。

その延長線で野球指導者から安定感を取り戻してほしい。 悪循環を断ち切り、好循環の輪を作るための糸口をそこで探してみよう。 もちろん野球指導者たちから警戒心を持って本分を全うするのが最優先だ。

出典：<http://www.sportsseoul.com/news/read/1199325?ref=naver>

07 週刊スポーツニュース

太極マークをつかんだ高校生テコンドーのホン・ヒョリム

<http://www.kado.net/news/articleView.html?idxno=1168802>

サウジアラビア、アジアカップに続きクラブワールドカップまで…「スポーツウォッシング」批判強まる

<http://www.dailysportshankook.co.kr/news/articleView.html?idxno=271480>

ガムの学生選手のためのロッテの特別な才能寄付

<http://www.sportsseoul.com/news/read/1199978?ref=naver>

就任後初めて鎮川選手村を訪れた尹大統領「スポーツ産業活性化でエリートスポーツを積極的に支援」

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202302160100110600014365&servicedate=20230215>

バレーボールの試合に来て惨事…学生選手団 39 人の葬儀、涙の海

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20230213012800009?input=1195m>

KB 損害保険選手の寄付リレーは続く

<http://osen.mt.co.kr/article/G1112045835>

「うちの妻と浮気したのか」…「野球団監督暴行」弁護士、学生・コーチにも慰謝料

<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=02515766635512488&mediaCodeNo=257&OutLnkChk=Y>

「コーチ、少し早めに出て下さい…」 毒気を含んだ天才打者、熱血学生に変身

<http://osen.mt.co.kr/article/G1112043801>

「夏は水泳、冬はスキー…」 夏と冬のパラリンピック、みんな挑戦の夢」

<https://www.donga.com/news/Sports/article/all/20230217/117925155/1>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための

体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー (資料室) <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>